



藍サポ通信～明日に向かって～に掲載されている写真は、本人又は保護者の同意を得て掲載しています。

### 身近な素敵をみつけよう

生活介護ひらのでは、利用者さんが主体的に活動に参加できるように工夫をしています。

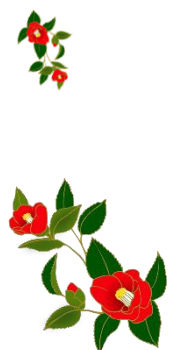
その方法として来所した際に本日はどのような活動(木工部、テーブルワーク、作業、紙すき、公園散策、公園掃除)があるかを確認出来るように、ボードに書かれてあります。

自分で判断して決める、職員と相談する等の利用者さんがいらっしやいます。今回はその中で公園散策についてピックアップしたいと思います。

毎週土曜日の活動で散策に(コロナウイルスの影響もあり職員、利用者はマスク等しっかり感染対策を行ない)出掛けています。運動をする機会が少なくなってきました。我々職員も良い運動となっています。また、ウォーキングを楽しみつつ、平野の街を散策し、「こんな所にコレが売っていた!」「この道は知らなかった!」等色々な発見もあります。十月には、平野商店街でハロウィンのイベントが開催されており、ぜんざいが振舞われており、美味しく頂きました。

そして、散策の目的地は平野商店街にある全興寺です。全興寺とは、地獄堂、仏の国を体験することができ、別名「寺のデイズニールランド」と呼ばれています。何度か全興寺に行く事により、利用者さんも慣れた様子で参拝をしている姿があります。

これから本格的な寒さが訪れ、インフルエンザ、コロナウイルス等に気を付けながら、ひらのでの活動を続けていきたいです。平野に住んでいるので、ぜひ、足を運んでみてください。



## 安心サポーター



上) 看護師会議の様子

藍サポーターネットワークでは生活介護と放課後等デイサービスの通所事業を三カ所の拠点にて行っています。この度、各拠点にて看護師を配置することに定期的なミーティングを開催することとなりました。この看護師ミーティングでは、新型コロナウイルス感染症の予防に加え、平時の体調管理、傷病対応、看護記録の整備など医療系の専門職としての視点で利用者の方々への対応や施設の衛生対応などについて話し合っています。いずれの看護師の方も障がい福祉サービス事業所での看護職としての就労経験をお持ちで、障がい児者への関わりも深く介護職員とも良好な関係で利用者支援に関わってくださっています。また、介護職と看護職との専門性の違いや衛生行為への意識のギャップなどについて、実際の現場や教育を通して柔軟な対応で連携できるように努めてくださっています。

また、平野西事業所では看護師の方にこれからの季節にむかって注意すべき要点を次のようにまとめていただきました。

**新型コロナウイルスとインフルエンザを予防しよう！**

①冬の感染対策

冬は色々な感染症が流行りやすい季節です。特に冬に流行するインフルエンザは症状だけでは新型コロナウイルスとの判断が難しくなりますが、皆が新型コロナウイルス

対策を行うことで他のウイルスも流行しにくくなります。

②ひとりひとりができる感染対策を徹底しましょう

- ・マスクを着用する
- ・こまめに手洗いをし、アルコールなどによる手指消毒をしっかりと行う。
- ・加湿(湿度四〇%～六〇%が効果的)と、定期的な換気をする。
- ・座る位置や間隔に注意
- ・体調が悪いときは無理をしないで安静にする。

③発熱の症状がある時

まずは外出を控え、感染対策をとりながら、自宅で安静に過ごしましょう。次のいずれかが該当する時は「かかりつけ医」もしくは「受診、相談センター」に電話で相談しましょう。

- ・息苦しさや強いだるさ、高熱などの症状がある。
- ・高齢者や妊婦、基礎疾患を持つ方で軽い風邪症状がある。
- ・軽い風邪症状が四日以上続いている。

## 二十歳になる年に

相談支援事業ひらのより

子どもの頃から障がいがある方の多くは二十歳になると障がい基礎年金の手続きを行うと思います。生活していくうえで経済的な安定は欠かせない為、大事な申請手続きとなるのですが、現在は申請書類の一つとして『病歴・就労状況等申請書』の提出が求められています。

この書類には、障がいがあること認められた日から現在の過程を記入することになるのですが、ご家族の中には小さいころの記憶が曖昧になり記入に困る場面をみかけることがあります。幼少期についての記憶を相談支援専門員としてご家族と一緒に振り返ることがありますが、



お互いに記憶があやふやで、当時の思い出話に花が咲くことになり、結局のところ書類に記入できずに終わることも多々あります。

障がい基礎年金の申請をスムーズに行うには、二十歳以前の記録として子ども相談センターや病院などで行った検査結果も有効な資料となり得ます。

このような年金申請にもお役に立てられるよう、できるだけ長く支援者として携わることが出来るよう今後も努めていきたいと思っております。

令和2年10月25日(日)

# 『とき・ドキ・マーケット』

平野連合会館にて手作りバザーに参加させて頂きました。新型コロナウイルスの影響で休止していたバザーが久しぶりに参加できると知り、みんなはりきって準備をしました。



自社製品に関しては細かい工程もあり、なかなか上手く出来ず何度もやり直しをしたこともありました。職員といっしょに一つ一つ丁寧に作っていきましました。みんなで協力し、たくさんの手作り作品を完成する事ができました。当日は朝からみんなで協力してお店の準備をしました。

オープンの時間になりみんなドキドキしながら「いらっしやいませ」とお客さんが来てくれるように声を出していました。今までのバザーの売店で経験したことを活かして声も大きく出すことができ、前を通るお客さんが足を止めて商品を見てくれたり、子供連れのお母さんも子供たちも商品を真剣に選んでくれていました。  
見に来てくれたお客様には丁寧に商品の説明を行い、



「僕たちが一生懸命手作りしました」としっかりとアピールし対応する事もできました。ブレスレットを購入してくれた方からは「これお守りにするわ」と嬉しいお言葉を頂くことができました。お客さんが途切れることなく商品を見に来て下さり、おつりがうまく渡せなかったり袋に上手に入れる事が出来なかった事もありました。地域の方々が温かく見守ってくれていて本当に嬉しく感じました。



あつという間でしたが無事にバザーを終える事ができました。手作りバザーでは地域の方々との交流がすごく楽しくいろんな方とお話をしたり自社製品について聞いてくださったりすごく貴重な時間になります。今後も機会があれば地域の方々との交流を重ねていきたいと思えます。  
年末には、クリスマスやお正月に使う祝箸もたくさん予約注文が入り購入して頂きありがとうございます。



寒さに負けず  
コロナにも負けず!

十一月にくれよん運動会がおこなわれ二階対三階で一週間かけて対戦しました。

土曜日は二階、三階全員が集まり、近隣のグラウンドを借りて屋外で広々とおこなう予定でしたが、あいにくの雨で室内での開催となりました。綱引きや玉入れなど相手チームに負けないよう競技前に「絶対勝つぞー!!!」と陣陣を組み気合いを入れたり「頑張れ〜!!!」とチームの応援

にも熱が入り白熱した運動会となりました。

平日は各フロアに分かれ、ボツチャやキャタピラレース、台風の目などの競技をおこなうタイムや点数で競いました。競技後に各フロアの結果を内線電話を通して聞く時は「どうかな?」「これは勝ったやろ!」とドキドキした様子が見られました。



負けた時も全力を出し正々堂々と戦ったことで大きな落ち込みもなく「次頑張ろう!」と切り替えて前向きな子ども達でしたよ♪



新型コロナウイルスが流行している中での開催となりましたが、いつも通りフロアの換気や消毒、競技前に手指のアルコール消毒をおこなう等、感染には十分気を付けて取り組みました。

今後も新型コロナウイルスの影響はあると思いますが、子ども達が楽しみにしている行事などが無事開催出来るように、感染防止に配慮しながら工夫して取り組めたらと思います。

